

グリーン社会実現に向けた研究の推進・連携



(研究期間：令和5年度～)

グリーン社会実現研究推進本部

【本部長】
所長

佐藤 寿延

【事務局】企画部
インフラ情報高度利用技術研究官

大城 温

河川研究部水循環研究室
主任研究官

山地 秀幸

(キーワード) グリーン社会、総合技術開発プロジェクト、環境研究機関連絡会、気候変動適応、研究連携

3.

快適で安心な暮らしを支える研究

1. グリーン社会実現研究推進本部の活動

国総研では、「国土交通省環境行動計画」に基づく環境研究を組織横断的に推進するため、「国総研グリーン社会実現研究推進本部¹⁾」(以下「グリーン本部」)を2023年7月に設置した。グリーン本部は、国総研内の横断的な研究推進と、外部の研究機関との連携の2つを活動の柱としている。

2. 国総研内の組織横断的な研究の推進

グリーン本部では、環境に関する政策・研究の動向等を中心に情報共有や意見交換等を行っている。

また、グリーン本部事務局が調整役となり、組織横断的な研究プロジェクトの立ち上げに取り組んでいる。具体的な成果として、国土交通省の「総合技術開発プロジェクト²⁾」として「カーボンニュートラルに資する新技術の導入促進のための研究開発」が2025年度から開始されたところであり(図)、2026年度からは「都市機能継続のための戦略的水害対策技術の開発」が開始される予定である。

3. 外部の研究機関との連携

(1) 環境研究機関連絡会

環境研究機関連絡会に参加する12機関が開催した「研究交流セミナー³⁾」(2025年11月)に今回も国総

研が参加し、企画部の大城インフラ情報高度利用技術研究官が「建設分野における循環経済・自然再興に資する国総研の取組」について発表するとともに、各機関からの参加者と「循環経済と自然再興実現」をテーマにディスカッションを行った(写真)。

(2) 気候変動適応に関する研究機関連絡会議

気候変動適応法に基づき設置された本連絡会議では、参加機関の研究者等による「気候変動適応の研究会」の研究発表会⁴⁾が毎年開催されている。2025年12月の研究発表会では、河川研究部水循環研究室の山地主任研究官が「気候変動による降雨時空間分布の将来変化と流域デジタルテストベッドの活用」と題して発表を行った。

詳細情報はこちら

- 1) 国総研グリーン社会実現研究推進本部
https://www.nilim.go.jp/japanese/organization/gx_honbu/indexgx.htm
- 2) 総合技術開発プロジェクト(国土交通省)
https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000124.html
- 3) 第7回環境研究機関連絡会研究交流セミナー
https://kankyorenrakukai.nies.go.jp/seminar_07/
- 4) 令和7年度気候変動適応の研究会 研究発表会
<https://adaptation-platform.nies.go.jp/ccca/conference/2025/1216/index.html>



図 「カーボンニュートラルに資する新技術の導入促進のための研究開発」の実施体制



写真 研究交流セミナーでのディスカッション